

しずおか平和の風

No.67
2020年12月 5日
発行
静岡市
平和委員会
静岡市葵区鷹匠
1-5-8
TEL 253-1854
FAX 252-0785
メール
peacecity1854@gmail.com
ホームページ
https://shizuoka-shi-heiwa-iinkai.jimdofree.com



「104訓練」監視活動報告

去る10月19〜28日までの10日間「104訓練」監視活動が東富士演習場で行われ、静岡市平和委員会は23・24日に両日とも3名参加しました。

23日は8時〜17時まで、ほぼ小雨が降る中で監視でした。155ミリ榴弾砲100発の着弾(音)、雨と霧のため煙などは観測できませんでした。

24日は8時〜21時まで、曇り時々晴れの中の監視でした。夜間に62発の着弾がありました。この日も自衛隊の訓練が朝から行われ、慣れない私たちに区別が困難でした。

訓練期間の着弾数は1845発(白燐弾91発) 監視参加者73名でした。

「104訓練」の監視活動に初めて参加して

10月21日(土) 早朝、静岡を3人で出発。午前7時半過ぎに監視個所に到着。底冷えする中、道路を隔てた基地内では数名の兵士がリーダー機器を操作する模様が目に入ってきました。監視

視行動には伊豆地域からも一人、活動を開始されていました。

しばらく静寂が続く中、遠くで「ドン」と鈍い発射音が聞こえてきた数秒後、着弾地に白煙が上がり、5秒後大音響の炸裂音が辺りを震わしました。その後連続して着弾と轟音を富士の裾野に響かせました。この日は自衛隊も訓練をしていたようで、双方で午前中だけでも百発以上は撃たれたと思います。

午後も断続的に破裂音が空気を振動させます。白リン弾も発射されました。夕方7時過ぎから着弾地上空に照明弾が十数発、あたりを明るく照らしながらゆっくり落下していきました。

監視行動に参加し、富士の裾野では「訓練」ということで身の危険はないけど、中東など戦

闘地域に海兵隊が派遣されているところでは、人々の上に砲弾が落下し多くの人命が失われている実態を考えたとき、平和憲法を持つ日本でこのような訓練を強行する米軍と、それを許している政府に強い憤りを覚えました。

丹羽 巖



注目の「高機動ロケットシステム」搭載トラックの後部

つむじ風

私のガン体験

人は長く生きていくと、色んなことに遭遇する。ある時から身体の異変を感じた私は、その日病院に駆け込んだ。

医者は「あーっ、子宮ガンだと思います。調べて後日お知らせするので一週間後に来て下さい」。結果は案の定「ガン」だった。

私の家系には兄弟も両親も誰一人ガンに罹ってはいない。何が悪いのかと考えてみたが、思い当たることも無い。厄介な病気に罹ったもんだと思った。

九月一日、県立総合病院で手術。ガンのステージは1だと言われていたが、手術は12時間に及んだ。長い麻酔下で何回か目が覚めた気がする。朦朧とした記憶の中、私の握った手はガムテープのようなもので巻かれており、それを剥がそうとしてはその度に叱られた。

娘が病院に呼ばれて一人、手術に立ち会ってくれた。

コロナ禍で、基本見舞いは禁止。付き添いは家族一人のみ許されていた。たった一人の12時間はさぞ長かっただろうと可哀想に思った。

退院すると、ガンのおかげでみんなに親切にして頂いた。気が紛れるように、今日は県立美術館に行こう。たまには美味しい物を食べに行こう。ぶどう狩りにも連れて行って貰った。

大変な思いをしたが、たくさんの思いやりや優しさにふれた二ヶ月だった。

大坪 美恵子



今年もまた開かれた「浜岡原発再稼働を許さない！」ひまわり集会。

コロナ禍で種々な集会在中止や延期になり、開催できるかな？と心配していただけに秋晴れの

下、駿府城公園にたくさんの仲間の姿が見られ、うれしかったです。特に印象に残った講師、神田香織さんのお話。聞く者の心がゆすぶられ、涙が出そうになりました。あとで参加した人に聞くと私だけではなかったようです。

3・11のあと福島支援のバスの旅に参加した事があり、その時の事がよみがえってきました。放射能をふくんだ黒いごみ袋があちこちに山積みされていたこと。ゴーストタウンのような町。まだ建てたばかりの家々が立ち並ぶ様子。そこから見た原発の姿。政府が避難解除をしようとした頃でした。こんな町へ帰ってくる人がいるだろうか？家の周りの放射線量は減っているとしても、医者はいない、買い物をするところもない

11・15 ひまわり集会に参加して ～黒田 久予～

今年もものではどうして生活しているのだろうか？

現地の農家の人にも話を聞きました。「福島農産物は放射線量をしっかり計って出荷している。放射能は全国的に降りかかったのに、他の地域では放射線量等計らずに出荷している。他地域の農産物は安全と錯覚させられている。避難解除も、政府の支援打ち切りの為にやられているようにしか思えない」と。

この集会で講演を聞きながら「あのごみの山やゴーストタウンのような町並はどうなったんだろう」と思いました。今を生きる大人の責任として、子供たちに残してはいけない負の遺産、原発は何としてもなくさなければと強く思います。



『福島の祈り ある母子避難の声』を演じる神田香織さん

浜岡原発再稼働を許さない！ 11・15ひまわり集会開催 まもろう環境 ふやそう再生可能エネルギー

11月15日(日)駿府城公園で、「ひまわり集会 in しずおか」が開催されました。よく晴れた秋の一日、各地から集まった参加者は約700人。浜岡原発再稼働反対、まもろう環境、ふやそう再生可能エネルギーの決意を新たにしました。

電気は足りてる 足りないのは愛だ！

開会あいさつの実行委員長林克さんは、福島原発汚染水の海洋放出や、浜岡原発新燃料の横浜からの持ち込みを批判。「東海地震の震源域の真上にある世界一危険な浜岡原発の再稼働を県民の声を一つにして絶対に阻止しよう。電気は足りている。足りないのは愛だ」と訴えました。そして「約22万人の署名を川勝県知事に提出した。川勝県知事も『任期中は再稼働は認めない』という姿勢でいる。来年の県知事選挙では、再稼働を認めない県政をみんなの手でつくろう」と呼びかけました。福島県いわき市出身の神田香織さん(講演については1



ペーパーフラワーを振る参加者

集会は「浜岡原発の再稼働を許さない!!」とする集会アピールを採択して終わりました。

静岡県・保険医協会理事長は、「学術会議の声があったから、原子力利用はできなかった。口うるさい研究者や科学者は排除していいこうというのが、今回の学術会議任命拒否。科学者の声を聴かない政権では、コロナは収まらない」と喝破しました。

核兵器禁止条約がいよいよ発効

『唯一の戦争被爆国日本 政府に核兵器禁止条約の 署名・批准を求める署名』 始まる

国際連合は10月24日(日本時間25日)、核兵器禁止条約が、発効に必要な50カ国・地域の批准に達したと発表しました。90日後の来年1月22日、史上初めて核兵器を非人道的で違法とする国際条約が発効することになります。

2017年7月7日、国連

『唯一の戦争被爆国日本』禁止条約は成立しました。それは被爆者の体験と平和への願い、欧州の現実の危機感を募らせた若者達の情熱の成果でした。その後着実に署名国・批准国を増やし10月23日にはジャマイカとナウルが批准し、あと1カ国となっていました。そして24日、中央アメリカのホンジュラスが批准して50カ国となり成立したのです。この間、唯一の戦争被爆国である日本政府は核保有国と

私の好きな音楽 (9) ~ 宮 秀雄 ~

「内声の働きも大事」
僕は少年時代からの夢だったヴァイオリンを中年になって始めた。最後の勤務校、清水南高校には音楽科があった。そこで見た真似で始めたのだが、詮老化が始まる年齢では上達は遅い。しかし何事もやってみるものである。いかにプロの演奏家がすごいのか、アマとの違いが分かった。アマとしてアンサンブルを楽しむ音楽する喜び(人間としての最高の喜びだと思ふ)

を味わいたいのなら成人してからでも遅くない。そこで定年後に学生オケ出身者が多い「弦楽アンサンブル清水」へ入れてもらった。最初は第二ヴァイオリンを弾いていたがヴァイオリンが増えてヴァイオリンが一人になってしまった。合唱経験が長いおかげで、アンサンブル全体のバランスを常に考える癖がついてしまった。僕は、ヴァイオリンも弾いてみたいと思いきや、軽い気持ちで転向して、しかしヴァイオリンは大きくて重く保持するだけでも疲労はヴァイオリンの数倍。記譜法も違う。今も苦勞の連続。しかし弾いてみたから「分かった」という面もある。オケでコントラバス奏者は主旋律を受け持つことは少ないが実際は全体を支えている。ヴァイオリンも和音の中にあって内声を支えている。ヴァイオリンとフルートだけではオケにならない。ヴァイオリンやチェロ、コントラバスがどのように大切、重要なかが分かった。以来生オケやCDを聴くときも常に低声と共に内声にも意識して聴くようになった。特にポケットスコアを見ながら聴くとどんなに大変で難しいことを奏者がやっているのかが分かった。

平和の動き 12月

- 7日(月) 核禁条約批准を求める署名行動 12:15 東急前
- 9日(水) 9の日行動 12:00 青葉前
- 19日(土) オール静岡アクション 17:30 青葉前

